

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300406		
法人名	(有)ハートコネクト		
事業所名	グループホーム さくらの樹		
所在地	〒841-0005 鳥栖市弥生が丘4丁目22番		
自己評価作成日	平成22年5月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年5月21日	外部評価確定日	平成22年6月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員の配置に余裕を持たせる事により、常に利用者のペースを守り出来る限りの自立支援を目指しています。出来る事、出来そうな事、今までできていた事を職員の支援によりご本人のペースでやっていただく事により、喜びや生きがいを持って生活して頂き、ますます活き活きと生活されています。『楽しいわが家 明るい家族』を目指し、いつも明るく笑顔が絶えずに、自然と皆さんがリビングに集い助け合いながら生活されています。楽しみの一つにもなっている、お花見外出やランチ外出はもちろん、毎日の食事も朝食は一汁二菜、昼食夕食は一汁三菜と旬の野菜を取り入れ彩りも工夫しており喜んで頂いています。又、誕生日当日に行う誕生日会などの行事に積極的にボランティアの受け入れをする事で、外部との関わりも増えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

鳥栖の北東部の新興住宅の中にあるグループホームであるが、近隣の方々とも馴染みとなり、職員の配置を基準より多くする事で、利用者への支援を手厚くしている。明るいリビングで日課のレクリエーションを1時間するが、百マス計算やマンダラぬりえ・季節の飾りもの作り等多種多様な脳トレーニングを実施している。キッチンには、作業をしながら見守りが出来るアイランドキッチンで、利用者のお手伝いもしやすい。同室には、高床の畳敷きのオープンスペースがボランティアの方々の発表の舞台になり、利用者が楽しめる造りとなっている。サンデッキに出ると、季節の花や野菜を觀賞しながら運動が出来る造りとなっている。ゆったりとした音楽を流し、テレビは希望によりつけるようにしている。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で地域の方々と一緒に安心して暮らしていけるような環境づくりを目指し、分かりやすい言葉で理念を掲げ、常に目に付く所に掲示し職員一人一人の意識を高めています。	理念を「皆様と共につくる楽しい我が家・明るい家族」としており、利用者が家庭の延長線で違和感を感じずゆったりとした生活が出来るよう支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の日課となっているお散歩などで積極的に地域の方と関わりを持つ事を心掛けています。気軽に対話したり、近所の子供さんも遊びに来て下さる事もあります。また、野菜や果物お菓子などのおすそ分けを頂くような関係も出来ています。	新興住宅の中のホームであるが、毎日午後の散歩で近隣の方々と馴染みとなり、野菜や果物・お菓子等の頂き物をする付き合いをしている。また、自治会にも加入し、地域の夏祭りや秋祭りにも積極的に参加したり、保育園児のクリスマス訪問等の交流もしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的に町内にホーム便りを配布し活動内容を報告しており、相談来訪時にはいつでも対応説明、見学していただける体制を整えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、区長、民生委員、包括、市議など多方面からの参加も頂いており、意見を頂きサービス向上に努めています。	運営推進会議には、家族代表や、地域の市会議員・区長・民生委員等の出席を得て、事業所の活動状況や検討課題等について報告し、意見や提案を積極的に取り入れ、サービス向上に努めている。	運営推進会議の開催が年4回程度であるので、6回以上の開催をされる事を期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課には必要に応じて電話や訪問して協力を頂いており、定期的に入居者状況報告書も提出しています。	運営推進会議には、地域包括支援センターからの出席を得ており、入居者状況報告書も定期的に提出している。また、地域のグループホーム協議会に参加し、研修や情報交換により質の向上に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルも作成しており、全職員に周知徹底しています。日中は玄関、全ての出入り口は開放しており、職員が連携して見守りする事で、利用者は自由に生活する事が出来ています。	職員は、身体拘束をしないケアを理解しており、日中は、玄関、全ての出入口を開放している。職員の連携により目で見て耳をすます介護をして、さりげない見守りをしている。利用者がのびのびとした生活をする事が出来る支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的だけでなく、精神的ダメージの虐待も視野に入れ、言葉使いや接し方も日頃から職員全員で注意を払っています。また、見過ごされる事の無いように、職員同士で注意し合う様に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が定期的に学ぶ機会は設けていませんが、今回対象の方がおられますので、市役所、社会福祉協議会と連携して対応しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は契約内容はもちろん、運営規程、重要事項説明書に沿って丁寧に説明し、利用者、家族の同意を得て、署名捺印まで頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が話しやすい環境作りと、利用者の小さな変化も報告するようにスタッフ全員で心掛けています。その為にも常に職員間で情報を共有し連絡し合う様に努めています。	利用者と職員は積極的に会話を楽しみ、テレビは極力つけない。全ての家族がホームへの訪問を頻繁に行っており、利用者の日常を報告したり、意見が表せる雰囲気作りをしている。運営推進会議に利用者代表も出席し、出された意見は検討・対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回の全体会議では、職員それぞれが会議までに、事例→原因分析→対策までを考え、会議で発表し、全員で検討しあう機会があり、たくさん意見を反映する事が出来ています。	月1回の全体会議には、全職員が事前に提出した「ケース検討議案書」を協議・検討し、利用者のヒヤリ・ハットから事業所の管理・運営について等幅広く意見が出されている。また責任者会議において意見の集約とトラブル・事例対策管理をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来る範囲内でスタッフの希望する勤務時間とそれぞれの特技を活かせる様なシフト体制になる様に努めています。年2回は運営者と全職員での食事会、昇給や賞与なども給与規定に基づき、充実しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員に都度外部の研修会の案内はしており、経験年数などから順次研修会に参加してもらっています。研修も勤務扱いとする事により、より一層真剣に取り組んでもらえるようにしています。内部的にも日頃からシフトを工夫してスタッフ同士での資質向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会、介護支援専門員協議会に入会しており、定期的な会合や研修会などを通じて、横の連絡体制も出来ています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	特に相談から利用開始後しばらくは出来る限り積極的に信頼関係作りに努め、住み替えのダメージが無く、早期に安心を確保出来るようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族間での意見の違いにも最新の注意を払い、本人はもちろん家族にも安心して頂ける様に、積極的に面談や話をする機会を作るように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族の希望やそれまでの関係者の方々にも意見を頂き、必要な支援の見極めに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩である利用者には学ぶ事はたくさんあり、生活の中で疑問点があれば都度教えていただく関係が出来ています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員だけでは対応困難な場合は、家族に相談や援助も頂いています。看取り時には特に積極的に食事介助に来てくださるご家族や曜日を決めて面会に来られる配偶者の方もおられます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や馴染みの方々の面会は多く、ゆっくり面会できるように配慮しています。定期的、記念日の外出なども楽しみにされており、また遠方の方には電話や手紙を書くことの支援もし喜んでもらっています。	友人や馴染みの方々の面会は多く、ゆっくり面会出来る配慮をしている。利用者は全員参加の定期的な記念日の外出を楽しみにしており、食事処の協力を得てミキサー持参で出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中、皆さん殆どリビングに集まっておられ、利用者同士の関係を把握して、食卓の席順を配慮したり、職員が関係作りの橋渡しになる様にきっかけ作りを積極的に心掛けています。座位で食事のつぎ分けをすれば、歩行できる方が運んで下さる等、自然な流れが出来ています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話で近況をお尋ねしたり、ご家族にはボランティアでの訪問のお願いもしています。敬老の日のお祝いに折り紙のコサージュを届けてくださった家族もいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の勝手な思いの押し付けにならない様に、常に利用者に関わらせる介護や、わずかな反応やつぶやき語や表情も見逃さないように心掛けており、職員間でも常に話し合う機会を設けて、検討し合っています。	職員は、日々の関わりの中で、常に利用者に関わり、声かけや問いかけをしてわずかの反応や表情からもきめつけをせず、「今日の発見」として一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、家族、関係者から聞き取りや出来るだけ多くの情報を得るように努めています。日々の生活の中でも本人や家族から知り得た情報などは必ず記録に残し、ケアに活かすようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時系列式の個人記録で1日の生活内容が把握しやすく、また、勤務職員が利用者の気持ちの変化を記入するようにもしており、現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族には電話や面会時、毎月のホーム便りにて本人の近況を報告して意見や希望を尋ね、それを元に全職員で意見を出し合いケアプラン作成し、定期的や状態変化時には見直しも行っています。	家族面会時や毎月のホーム便りで、本人の近況を報告して意見や希望を聞き、反映させるようにしている。全職員で意見を出し合いケアプランを作成している。本人や家族の要望や変化が生じた場合は、モニタリング、カンファレンスを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、当日の勤務者が利用者の日々の様子や気づきなどを時間に沿って記入する個人記録の様式を使用しており、様々な発見があり日々のケアや介護計画に役立てるようになっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の面会時には積極的に話す機会を作り、状況の報告や要望の確認をしています。また、職員の配置にゆとりを持たせる事により柔軟な対応が出来る体制を作っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の知り合い、昔からの友人、近隣の保育園など多方面からのボランティアの受け入れも積極的に行い、利用者の楽しみの1つにもなっています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望により以前からのかかりつけ医への受診も可能です。(現在2名おられます。)毎週火曜日に往診に来て頂いているドクターには家族が立会い、いつでも医師の説明を受ける事が出来ます。	本人やご家族が希望するかかりつけ医の受診も可能となっている。協力医は毎週往診に来ており、適切な医療を受けられるよう支援している。往診時には家族立会いで、説明を受ける事も出来る。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師も介護士と同様の業務内容であり、気づきがあれば、都度職場内の看護職員に報告相談し、訪問診療の看護師とも日常の健康管理から24時間緊急時の連絡体制も整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者はじめ職員は可能な限り面会し、利用者が不安を軽減できるように努めています。主治医同士、ソーシャルワーカーや家族とも連絡を密にし情報を共有する事で、早期退院に向けての働きかけをしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の希望に添える終末期を送れるように、早期から医師家族と説明や話し合いを繰り返し、同意書も頂いています。また、職員全員でも方針を共有して、日々変化する状態にも記録物や申し送りなどで、ケアの統一に努めています。	本人やご家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように随時意思確認をしながら取り組みをしている。これまで、希望により3人の看取りを実践している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救命救急師による心肺蘇生術、AEDの操作法の指導、実習を全職員が行っています。また、職員がいつでも確認できるように対応マニュアルも準備しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の指導による夜間を想定した避難訓練を行っています。その際、近隣の方々へも案内して参加も頂いています。また近隣の方々との緊急連絡網も整っています。	定期的に消防署の指導により、夜間を想定した避難訓練を行っている。また、消防署との通報システムを24年までに設置予定である。近隣からは、緊急連絡網の申し出もあり、協力が得られている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のそれぞれの能力を十分に把握して、常に人生の大先輩としての声掛け介助することを心掛けています。	常に人生の大先輩として一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の能力に応じて意思表示しやすい声掛けの工夫(問い掛け形式で声掛ける)と優しい雰囲気作りに努めています。また、表情などでも感じ取れるように観察や記録を徹底しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな1日の流れはありますが、それぞれの利用者の生活リズムを尊重して、ご本人のペースを守って過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの衣類を選んで着て頂いています。また、ほとんどの方が訪問理美容を利用しており、カットだけでなくカラーリングを希望される方もおられ利用を楽しみにされています。毎月出掛けているランチや花見時には、お化粧をして出掛けています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて、下ごしらえ、皮むき、つぎ分け、配膳、食器拭き、テーブル拭きなど、それぞれに出番があります。それにより食事の会話も弾んでいます。また、誕生日にはリクエストメニューも取り入れて喜んで頂いています。	利用者の能力に応じて出来る事を手伝いながら、アイランドキッチンの回りに集い準備をし、季節の感じられる食事を楽しんでいる。テーブルには、個人個人の水筒と湯飲み配置し、水分の摂取量も分かるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食、水分摂取は毎晩チェックしており、摂取量がおちている時には速やかに医師に相談したり、食事の形態やトロミを検討したりしています。また、テーブルのご本人の目の前にご本人様の水筒とお湯飲みを準備して、いつでも水分を摂って頂ける様に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後利用者に応じた支援を行っており、義歯は定期的に洗浄液に浸漬して清潔保持に努めています。また、定期的に歯科往診もしております。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人個人の排泄パターンを把握する為、毎回排泄の記録を行い、排泄誘導し失禁の予防に努めています。夜間オムツ使用の方も、日中はリハビリパンツを使用して頂き、トイレでの排泄を誘導しています。	個人個人の排泄パターンを記録・把握し、トイレ誘導をして、失禁の予防に努めている。夜間オムツ使用の利用者も日中はリハビリパンツを使用し負担の軽減を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、排便のチェックを行っており、便秘気味の方には腹部マッサージ、旬の野菜を取り入れた食事、好みの飲み物で十分な水分摂取の声掛けを行っています。運動不足にならない様にお散歩も日課に取り入れています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	当日の体調やご本人の希望に応じて入浴して頂いています。楽しみの一つでもあるので、時間をゆっくりと取り、一緒に着替えを選びに行ったり、プライバシーに配慮しながら職員と1対1でゆったりとした気分で入浴されています。	基本的には入浴日は決まっているが、利用者の希望に応じている。一人ひとりの入浴時間を十分に取、着替えの選択から入浴まで職員と1対1で行うので、ゆったりとした気分で入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居時には今までの生活習慣を尋ね、生活リズムを崩さないように配慮しています。利用者の状況に応じて、リビング横の和室での休息も取り入れています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	分かりやすく日付毎に保管管理し、服薬時は誤薬の無いように職員同士で声に出して確認し合い服薬介助しています。又、毎週水曜日には薬局の先生の来訪で副作用などの説明を更に詳しく受ける事も出来ます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴や趣味を把握し、能力に応じて、庭掃除、配膳、野菜の下ごしらえ、食器拭き、洗濯物干しや洗濯物畳みなど場面場面で出番が多数あり、それが張り合いにもなって生き生きと生活されています。得意な塗り絵を日課にされている方もおられます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	午後から散歩外出の時間を設けています。スタッフと1対1で会話しやすい雰囲気の中でコミュニケーションを図りながら楽しんでおられます。全体外出では、レストランでランチ、季節のお花見なども楽しみの一つになっています。ご本人の希望で定期的に外出されている方もおられます。	毎日の日課として午後から散歩外出の時間を設けており、全体外出も季節の花見や、記念日のレストランランチを楽しむ。食事処や移動手段のタクシー会社も馴染みになって協力的である。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族との相談の上で少額のお金をお持ちの方もおられます。各入居者の預かり金もあり、必要時は支払いの支援をする事もあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	贈り物の礼状など、遠方の子供さんやご親戚の方などに電話したり手紙を出す機会を設けています。毎年の年賀状は先方にとっても喜んで頂いています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設的にならないように家庭的な環境づくりを心掛けています。特に台所は利用者が自然と集まって作業が出来るような配置(アイランドキッチン)で、それぞれの能力を発揮しながら生活感を味わって頂いています。又、家族や職員が持参して下さる花や散歩で持ち帰った草花でいつも季節感を味わう事も出来ています。	利用者の居室と共用空間とサンデッキが利用者にとって動きやすい造りとなっており、明るく清潔で臭いもない。リビングには花を飾り、季節感のある手作りの飾り物を配し、集う人を和ませている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、ソファ、テーブル、和室、キッチン、サンデッキなど、思い思いに過ごせるように配慮しており、自然と利用者それぞれの心地良い居場所が出来ています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設のベットやタンスも各居室でタイプが違い、更に家庭に近い環境づくりの為に、馴染みの椅子やタンス、写真や小物なども積極的に持参して頂いています。	ベットとタンスやチェストを施設で用意しているので居室により違うため、希望により時々部屋替えをするが、混乱はない。馴染みの椅子や小物・写真等積極的に持参して頂いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーで行動しやすく、居室やトイレ、浴室等、分かりやすい配置になっています。また、遠目でも見守りし易い造りの為、安全に自立支援できる体制が出来ています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない